

千葉県クラブラグビーフットボール選手権大会 実施要項

- 1 名称： 第24回千葉県クラブラグビーフットボール選手権大会
兼 第22回東日本クラブラグビーナメント大会予選
- 2 主催： 千葉県ラグビーフットボール協会
- 3 日程： 平成24年5月～6月
- 4 会場： 成田中台運動公園他
- 5 参加資格： 平成24年4月22日現在、千葉県ラグビーフットボール協会にチーム登録されているクラブ登録チームとする。コンバインドチームでの出場をする場合には幹事チームを決めること。クラブ登録チームがコンバインドチームを編成して出場する場合は、千葉県ラグビーフットボール協会に登録されたクラブ登録チーム、社会人登録チーム及び大学登録チームとのコンバインドを可とする。ただし、特に大会実行委員会において認められたチームはこの限りではない。全参加チームは平成24年度時点において継続して登録されていること。
- 6 選手資格
 - (1) 本大会の選手資格は、財団法人日本ラグビーフットボール協会「選手・役員規定」、及び、その他の施行細則に抵触しない者とする他、以下の特則に服する。
 - (2) 選手は、満18才以上の者のとし、高等学校在学中（定時制を含む）の者の参加は、認めない。
 - (3) 平成24年5月2日までに、日本ラグビーフットボール協会に「競技者個人登録」された（登録者障害見舞金制度に加入した）者に限る。
 - (4) 本年度の全国大会（大学・社会人・クラブ等全てのジャンルを含む）につながる都道府県大会ないし地域大会で、既に一つのチームから選手登録された者は、前項の登録期限に関わらず、移籍して他のチームから本大会へ選手登録することはできない。
 - (5) クラブ大会と全国社会人大会及びその地区予選大会の双方へ出場するクラブにあっては、出場選手はそれぞれ区分して選手登録されなければならない。同一選手が両方の大会へ出場することはできない。例外として、大会申し込み時に事前に申請されている場合は、両方の大会へ選手登録される場合でも本大会への出場を認める。但し、その場合の所属チームは上位大会である東日本大会への出場推薦対象から除外する。
 - (6) 他のチームとの二重登録は認めない。
 - (7) 財団法人・スポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」に加入していること。
 - (5) その他、選手資格に疑義がある場合には、大会実行委員会において裁定する。
- 7 参加料
 - (1) 30,000円
 - (2) 振込先

注) 振込時には、必ずチーム名を記入すること。

- 8 競技方法

基本的には8チームによるリーグ戦とトーナメント戦の併用方式とする。但し、チーム数の変動やシステムの変更の必要がある場合などは大会実行委員会において別途定める。

尚、新規の出場希望チームについては前年度に予選を実施し翌年度からの参加とする。
- 9 競技規則
 - (1) 財団法人日本ラグビーフットボール協会制定の競技規則による。
 - (2) 試合時間は、原則として40分ハーフとする。但し、グラウンド確保の状況等により予選リーグ

においては柔軟に試合時間を設定する。

- (3) トーナメント戦において、規定時間内に同点のために次の試合への出場チームが決まらない場合には、以下の基準で次回出場権を決する。
- ア. トライ数の多いチーム。
 - イ. トライ数が同じ場合には、トライ後のゴール数の多いチーム。
 - ウ. 上記の方法で決することができない場合には、抽選で決める。
- (4) リーグ戦（予選リーグ等）においては勝ち点制を採用する。全試合終了時点で、勝ち点の多い順に順位を決定する。
- （トップリーグ方式）
- ① 各試合の勝ち点は、勝ち4点、引き分け2点、負け0点とする。
（但し、不戦試合が発生した場合不戦勝のチームに勝ち点5を与える）
 - ②また、ボーナス点として以下の勝ち点を与える。
 - i 負けても7点差以内ならば、勝ち点1を与える。
 - ii 勝敗に関係なく、4トライ以上獲得したチームに、勝ち点1を与える。
 - ③全試合終了時点での勝ち点と同じ場合、次の各号の順序により順位を決定する。
 - i リーグ戦全試合の得失点差の多いチームから上位とする。
（但し、不戦試合が発生したリーグについては不戦敗のチームに関わる試合を除いた全試合）
 - ii 当該チーム同士の試合で、勝ち点の多いチームを上位とする。
 - iii 当該チーム同士の得失点差の多いチームから上位とする。
 - iv リーグ戦全試合の総トライ数が多いチームを上位とする（ただし、不戦勝などの理由で対象試合数が少ない場合はトライ数を総試合に換算して比較する）。
 - v リーグ戦全試合のトライ後のゴール数が多いチームを上位とする。
 - vi 当該チームで抽選を実施。
 - ④規約に定めのない事項については、大会実行委員会が裁定する。
- (5) 試合中ノンコンテストスクラムが発生した場合、得点は記録されるが、その原因を作った側のチームには上位進出権はない。
- (6) 決勝戦で同点の場合には、両チーム優勝とする。但し、上位大会への出場を決める場合には、上記（3）の基準を適用する。

10 罰 則

- (1) 参加資格を偽った場合、及び参加資格の無い者が出場した場合には、そのチームを失格とし、次回大会出場を認めない。
- (2) この場合には、事実発見の時の相手方チームを勝者とし、それ以前のものに触れない。
- (3) その他、スポーツマンシップに反する行為のあった場合にも前項に準ずる。
- (4) 参加チームは、自チームの応援団の行為についても責任を負うものとする。
- (5) 「不戦敗」のチーム及び「棄権」したチームの処分、その他本大会で生じた不規律に関しては、チームに告知聴聞の機会を与えた上で大会実行委員会に於いて処分を決定する。

11 表 彰

優勝チームには優勝杯と賞状を、準優勝チームには賞状を、それぞれ授与する。

本大会での成績を基に第22回東日本クラブラグビートーナメント大会の千葉県代表チームを選定推薦するとともに平成25年度第25回大会の構成チームを大会実行委員会において選抜する。但し、今年度においてコンバインドチームは東日本クラブラグビートーナメント大会への推薦対象から除外する。

12 大会説明会

本大会への出場希望チームは、大会実行委員会が開催する「大会説明会」に出席すること。大

会説明会に出席しないチームは、大会参加申し込みを認めない。

1 3 申し込み方法

(1) 参加チームは所定の申し込み書(①, ②の2枚1組)を作成し、平成24年5月2日(当日必着)までに電子メールにて下記宛に送付すること。同時に、7項に示す振込口座に参加料を振り込むこと。①と②の紙媒体及びスポーツ安全協会障害保険加入依頼書の写し③と日本ラグビー協会新登録システムから出力した<平成24年度チーム登録・個人登録一覧表>を1部④を平成24年5月7日までに下記まで郵送すること。

(2) 提出物

①大会参加申込書(電子メールによる電子文書5/2まで、紙媒体5/7まで)

②選手登録用紙(同上)

③スポーツ安全協会傷害保険加入依頼書の写し(5/7)

④日本協会新登録システムによる<平成24年度チーム登録・個人登録一覧表>(5/7)

申込締切日: 平成24年5月2日(水) *電子メールにて当日必着

電子メール送付先アドレス:

郵送先:

千葉県ラグビーフットボール協会 クラブ委員会宛て

注: 正式な参加申込は電子メールによる大会申込書・選手登録用紙の内容をもって正式受領とする。

県大会・実施細則及び諸注意

本大会は、東日本大会そして全国大会につながる県予選として上位の大会と共通の規則にのっとり実施されております。全国につながる公式戦としての重要性を認識頂いたうえでのご参加をお願い致します。

また、この大会は、単に覇を競うだけの目的で実施される訳ではありません。大会を通じたクラブチームのマナーの向上、エチケットの遵守、また、ラグビー・スピリットをあまねく普及させてクラブラグビーの地位向上に努め、正しいラグビーの発展に寄与することも大きな目標の一つとして掲げています。出場チームは、競技の側面ばかりでなく、全国のクラブの模範となるようなマナー、エチケットをぜひ実施して頂きたいと思っております。

以下の実施細則及び諸注意事項は、大会実施要項と併せて、遵守すべき最低限の基準を定めたものです。

実施細則

1 ラグビー協会「競技者個人登録」＝ 二重登録の排除

- (1) 競技者個人登録ができるのは、一つのチームからだけである。複数のチームから、個人登録できない（二重登録の排除）。
- (2) 年度途中、何らかの事情（転勤等）で別のチームに所属することになった場合には、前チームの競技者個人登録を抹消し、後チームで新たに競技者個人登録する手続きが必要である。（競技者個人登録の移動）。
- (3) 新規に競技者個人登録する場合には、本人に登録制度を十分に理解させた上で登録手続きを行うこと。特に来日早々の外国人選手や新卒者（高校ないし大学）には、必ず本人の入会を意思を充分確認してから登録すること。会社や学校のチームと二重登録できない旨を充分熟知させた上で登録すること。

2 大会ごとの「公式大会選手登録」＝ 1個人・1年度・1登録

- (1) 各チームで競技者個人登録された者の中から、大会ごとに「公式大会選手登録」を行う。この際には二重登録の排除とともに、「1個人・1年度・1登録」の原則が適用される。公式大会へは、その年度中はどこか一つのチームからしか公式大会選手登録はできない。すなわち、本大会で選手登録されれば、平成**24**年度の公式大会は、他のいかなるチームからも選手登録できない。その逆もしかり。複数のチームから登録すると「失格」となるので十分注意すること。

(2) 二重登録の起きやすい例

<例1> Aクラブと、Bクラブ（他県のクラブを含む）に所属している場合

<例2> クラブチームと、社会人チーム等に所属している場合

<例3> 高校・大学OBクラブにも所属している場合

各種公式大会へは、ひとつのチームからしか選手登録できない。複数のチームに入会している選手は、どのチームから選手登録するのか、必ず本人の意思を確認し、かつ、相手チームと連絡を取って、本年度は相手チームで選手登録しないよう手配した上で、自チームの登録手続きを行うこと。特に、関東社会人リーグ戦（1～4部を含む）や他県のクラブ大会での二重登録が目立つので、十分注意されたい。

<例4> 学生の取り扱い

大学チーム（大学体育会ラグビー部、大学クラブ、同好会を含む）に所属する学生は、

本大会で選手登録できない。その他の学生は可。

3 二重登録が生じた場

- (1) 本大会で選手登録された選手であっても、他のチームから「競技者個人登録」された場合には、その事実発見の時点で選手資格を喪失し、当該選手を「失格」とする。さらに、本年度の全ての公式大会、及び翌年度の本大会での選手資格を認めない。チームも同様とする。
- (2) 本大会に選手登録された選手であって、この大会以後、他のチームから本年度の各種公式大会へ出場した場合には（例えば、関東社会人リーグに出場したような場合）、当該選手を「失格」とし、本年度の全ての公式大会、及び翌年度の本大会への選手資格を認めない。チームも同様とする。
- (3) 二重登録で選手登録が抹消された場合、その補充はできない。

4 出場選手が揃わない場合

70分前ミーティングまでに、出場選手15人が揃わないチームは「不戦敗」とする。

5. ドレスチェックの実施

出場登録選手22名は必ずドレスチェックを受けなければならない。ドレスチェックを受けなかった選手は、試合への出場は認められない。

ドレスチェック時には<登録カード>を使用して、出場選手の確認を行うため、出場選手は必ず携帯すること。

6 服装規定違反があった場合

統一された、ジャージ、パンツ、ソックスを着用せず、その他「服装規定」に違反と認められた選手はその試合に出場できない。「服装規定」の詳細については「諸注意」の「3. プレーヤーの服装」の項を参照のこと。

諸注意

1 試合方法

- (1) 試合ごとの登録選手は、22人とする。
- (2) キックオフ70分前までに、メンバー表を本部席へ提出すること。
- (3) タッチ・ジャッジ1人と、メディカル・サポーターを必ず用意すること。
有資格のメディカル・サポーターをかならず準備すること。メディカル・サポーターは、かならず認定証を持参し、腕章着用のうち職務を務めること。
タッチ・ジャッジは、出来る限りレフリース資格を持った者が務めること。
- (4) 試合は、可能な限りスリーボール制で実施する。各チームからボールボーイを出すこと。
- (5) 組み合わせ決定時に当番チームを決め、当番チームはその試合のホームチームとしての役割を行う。
- (6) 試合終了後、各チームの記録員はレフリースとの内容確認を済ませた上で試合記録用紙を本部席までに提出すること。

2 競技に関して

- (1) キックオフ70分前に、両チームの (I) 主将、(II) タッチ・ジャッジ、(III) メディカル・サポーター、(IV) ボールボーイ、(V) 記録員は、本部席に集合すること。競技委員とレフリーを交えて最終打ち合わせ及びトスを行う。この時に「メンバー表」を提出する。
- (2) ハーフタイム時のプレイヤーの休憩地点は、5メートルラインより内側である。水、その他の持ち込みは、世話係（各チーム4名以内）が5メートルラインより内側のプレイヤーの所に持って入ること。うがいした水やレモンかす、チリ紙等はグラウンドへ捨てない。そのための空のバケツを持って入ること。
- (3) ハーフタイムの時、フィールド・オブ・プレーに入るものの出来るのは、そのチームの監督もしくはコーチなど1名のみとする。（競技規則第6条A(7)を準用。ルールコミッティ、レフリー・ソサエティの申し合わせ事項による）
- (4) ホームチームの世話係は、レフリーへ水、その他を持って行くこと。
- (3) セカンド・ジャージを持つことは、公式大会に臨むチームとしての常識であり必ず用意すること。

3 プレーヤーの服装（競技規則第4条、選手役員規定参照）

- (1) 統一されたジャージ、パンツ、ソックスを着用せず、その他「服装規定」に違反した選手は出場できない。
- (2) ジャージは、エリ付きのもので、ソデは最低肩からヒジまでの長さを有するものであること。胸にマークを付ける場合には、100cm²を限度とし、1ヶ所のみとする。（選手役員規定・参照）
- (3) 胸マークのついたジャージを着用するチームは、全員が統一されていること。不統一なものや、取れたもの等一切認めない。また、破れやほころびは補修し洗濯された清潔なものであること。チームマークのついたパンツを着用するチームは、全員が統一されていること。
- (4) 1番から15番（リザーブ選手は16番～22番）までの背番号のついたジャージを使用すること。
- (5) 背番号を縫い付けた場合には、四隅だけでなくしっかりとジャージに縫い付けて、試合中取れないようにすること。また、縫い付けとプリントの混在は認めない。
- (6) ジャージのリザーブ番号（16番～22番）が欠けている場合には、揃っている番号の人数分しかリザーブ登録を認めない。
- (7) パンツのスリット・ライン、ソックスの折り返しの不統一は認めない。
- (8) パンツの上に出たジャージは、常に注意してパンツの中に入れること。ジャージのエリを内側へ折り込まないこと。試合中、ソックスがずり落ちないように充分注意すること。
- (9) スパイクは、固定式のスタッド（一体形成型ゴム底のもの）であれば、鋭い形状の部分や鋭く隆起している部分がない限り、イボ状またはブレードタイプのもの着用の着用を認める。取り外し式スタッドの場合には、ブレードタイプの着用は認めない。
- (10) アンダーシャツを着用する場合には、ジャージと同系色か黒、白または紺色のものに限る。色は単色とし、柄のないものであること。
- (11) ジャージの袖より長いアンダーシャツは着用できない。
- (12) タイツタイプのスパッツは着用できない。
- (13) ジャージその他の用具に血液が付着した場合には、直ちに置き換えなければならない。
- (14) サポーター類を着用する場合には、パンツと同色の物を使用すること。但し、白色のアンダーパンツ、サポーター類はいずれのパンツにも使用することができる。

- (15) ヘッドギア、ショルダーパットに色規制はないが、<IRB マーク>の付いたもの以外は着用できない。ドレスチェックは型番などではなく、<IRB マーク>の有無のみで判断する。
- (16) 試合前にレフリー及び競技委員がドレスチェック（服装、スタッド等の検査）を行なう。
- (17) ドレスチェックで不許可となったものを競技区域で着用していた場合には、その時点で「競技規則 第26条（3）（j）」により退場となる。
- (18) チーム責任者は、当日のドレスチェックの際にトラブルが起きないように、事前の徹底、再確認をしておくこと。
- (19) 試合会場への往復、交歓会等には、できるだけ正装で臨むこと。

4 安全対策、脳震蕩の報告義務

- (1) 大会参加に当たっては、あらかじめ健康診断を受診する等、プレイヤーの健康管理には充分配慮すること。特に、過去に脳震蕩を起こしたことのある者は、必ず脳波検査、CT等の検査を受診させること。
- (2) 各チームは、メディカル・サポーターの有資格者を必ず用意すること。
- (3) グラウンドで明らかな頭部打撲を認め、その受傷時に応答（意識状態）の異常あるいは、身体活動の異常が認められるものは、すべて競技規則にいう「脳しんとう」に該当するものと考えて退場させる。試合中に脳震蕩で退場したプレイヤーが出た場合には、チーム責任者は所定の用紙によって報告の義務がある。
- (4) 試合終了後、怪我人の有無にかかわらず、「傷害事故報告書」を提出すること。

5 ホームチームの役割

- (1) 試合2日前までに、両チームで連絡を取り合い、さらに、レフリーへの確認の連絡を入れること。確認事項は、(I) 期日、(II) キックオフ時分、(III) 場所、(IV) 両チームのジャージの色、等々である。特に、ジャージの確認は忘れずに行い、同系色の場合には話し合いによりセカンド・ジャージに切り替えること。
- (2) ハーフタイムに、レフリーへ水、その他を持っていくこと。その他、交歓会等、当該試合全般に関し、責任を持って運営すること。

6 グラウンドの設営

- (1) 試合当日、第一試合を予定している双方のチームは、試合開始2時間前には集合し、グラウンドのライン、フラッグ等の設営を行うこと。
- (2) 試合当日の最終試合を行った双方のチームはグラウンドの整備、片付けを行なうこと。

7 大会運営委員の選出

本大会に参加するチームは自チームより専任の大会運営委員4名を選出し大会申し込み時に申告する。大会運営委員は大会運営委員会を組織し、準備も含めた大会期間中の大会および競技運営に積極的に参画すること。

8 大会運営委員会申合せ事項

- ①サポーター類については、東日本大会においてはパンツと同色もしくは白に厳しく規制されるが、千葉県大会においては「白色および黒色」のアンダーパンツ、サポーター類はいずれのパンツにも使用できることとする。（東日本大会出場時には黒は認められないので注意すること）
- ②出場選手については、70分前ミーティングにおいて提出された22名のメンバーの変更はできな

い。

※スターティングメンバーが急きょ出場できなくなった場合は、16番から22番の選手と入替えることはできるが、スターティングメンバーから外れた選手は、当該試合に出場することはできない。

③選手の交替、入替については競技規則第3条に準じて対応することとする。

④シンビン、退場（競技規則第10条参照）

A シンビン（一時退場）となったプレイヤーはハーフウェイライン付近の所定の場所に位置しなければならない。レフリーが許可するまで、フィールド・オブ・プレイに入ってはならない。その間、チーム関係者と接触してはならない。

B シンビンの時間は「10分間」とし、ハーフタイムの時間は含まれない。

C 本大会において累積2回目のシンビンが適用された選手はそのまま退場となり、ゲームに再出場することはできない。また、次の1試合は自動的に出場停止となる。

D 同一試合で2度目のシンビンを受けた選手はそのまま退場となり、ゲームに再出場することはできない。また、次の1試合は自動的に出場停止となる。

E フロントローの一人が退場もしくはシンビンとなった場合、当該チームの指名された全ての選手の中にフロントローがいなくなれば、レフリーはノンコンテストスクラムを命ずる。この場合、交替するフロントローが訓練されて適切であるかを判断し、またいるかどうかを決定するのはレフリーの責任においてではなく、そのチームの責任においてである。

F 入替で退場した選手であってもフロントローとしてそのポジションのスクラムが組める人が他にいなかった場合には、一時的交替で再出場することができる。

G シンビンで一時退出していた選手が戻ってきた時点で、一時的交替のフロントロー選手とその交替した選手は、元に戻る。（この一時的交替は、入替には数えない）

選手権登録用紙・記入上の注意

1. 大会申込書を千葉県ラグビーフットボール協会クラブ委員会ホームページよりダウンロードしてください。 <http://www.clubrugby-chiba.org/24thClub/index.html>
2. 登録できる人数に制限はありませんので足りない場合はP 2以降に追加してください。申込締切以後及び大会期間中の追加変更は一切できません。また、他のチームとの二重登録には十分ご注意ください。
3. 上から順番に「PR」「HO」「LO」「FL」「No 8」「SH」「SO」「CTB」「WTB」「FB」の順に記入して下さい。「FB」の後に、追加を書かないこと。
4. 申込記載事項（年令、勤務先等々）は、すべて平成24年5月2日現在で、ご記入下さい。
5. 勤務先は、会社名だけで部署は不要です。（株）（有）は、原則として付けないで下さい。学生の場合には、在学学校名をお書き下さい。この場合は、出身校欄は、出身高校名を忘れずに記入して下さい。予備校生も同様です。また、フリーアルバイトの人は無所属と記入して下さい。
6. 出身校は、短縮した形で書いて下さい。フルネーム不可
（例） 早稲田大学→早大、県立熊谷工業高校→熊谷工高
7. 上と同じ場合には、「//」と書いて下さい。
8. 個人登録番号は、下4ケタ（分類番号1ケタ+チーム内番号3ケタ）をご記入下さい。

〔 記入例 〕

No	位置	個人登録番号	氏名	年齢	身長	体重	勤務先	出身校	現登録チーム名
1	PR	3-001	XX XXX	25	175	85	XX 電気	早大	○△クラブ
2	〃	4-011	XX XXX	19	180	80	無所属	熊谷工高	〃
3	〃	4-008	XX XXX	31	170	85	△△運送	〃	〃
4	HO	4-023	XX XXX	28	172	73	〃	目黒高	○△自衛隊
5	〃	4-015	XX XXX	21	166	70	明大学生	啓光学園	□×クラブ
6	LO	2-002	XX XXX	26	190	82	〇〇商事	法大	〃
⑦	〃	4-003	XX XXX	22	185	85	自営	明大	△〇電機

↑主将には、○印を付ける。

9. 上記の記入方法に反した申込書は受け付けません。また、手書きによる申込書も不可です。印刷された正式申込書を提出すると同時に、電子メールにて電子ファイルを指定アドレスへ送付してください。記載事項に関し、一部でも「空欄」のある選手は大会実行委員会で自動的に抹消します。その場合、補充は認めません。